

授業科目

保健医療福祉連携学

担当教員名 松井 由美子	対象学年	3	対象学科	全学科
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

高度化する医療と多様化する保健医療福祉のニーズに対応できる専門職を目指して、チームとなって連携することの意義を学び、連携協働に必要なより実践的な能力を養う。多職種間専門職連携のための理論や歴史を学び、実践家による講義や提供された事例をもとにグループワークを行う。チームで模擬ケースカンファレンスを体験する中で、他職種の考えに触れながら自らの専門性を深めていくことができる。意見の衝突を避けることなく合意形成を行っていきけるようチーム一丸となって対象者中心の支援の在り方を体験的に学んでいく。

授業の目的

保健医療福祉専門職のチームの一員として連携する意義を学び、模擬カンファレンスに参加することで連携協働に必要なコミュニケーション技術や合意形成に至るまでの過程を体験的に学習する。また、他職種と共に対象者の課題解決について討議する中で自らの専門性を深めることができる。

学習目標

1. 専門職連携の意義とその歴史について述べられる。
2. 専門職連携のための理論と必要な能力について説明できる。
3. 模擬ケースカンファレンスの中で他職種の考えを尊重して自らの意見を述べるができる。
4. 模擬ケースカンファレンスの中で自らの専門性をより明確に説明できる。
5. 対象者の目標達成のためにチームが結束し合意形成していくための討議を行うことができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	専門職連携の意義とその歴史	講義・ディスカッション	松井 由美子
2	専門職連携のための理論と求められる能力	講義・演習	松井 由美子
3	実践現場における専門職連携協働（病院・地域医療現場）	連携協働の実際と事例の紹介	外部講師
4	実践現場における専門職連携協働（保健・福祉現場）	連携協働の実際と事例の紹介	外部講師
5	模擬ケースカンファレンス（病院・地域医療現場）	グループワーク	松井 由美子、ファシリテータ 他
6	模擬ケースカンファレンス（保健・福祉現場）	グループワーク	松井 由美子、ファシリテータ 他
7	発表会	模擬ケースカンファレンスの内容発表、意見交換、外部講師からのコメント	松井 由美子、外部講師 他
8	まとめ	講義・演習	松井 由美子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	特に指定なし					
参考書	実践チーム医療論—実際と教育プログラム（インタープロフェSSIONナル・ヘルスケア）	水本清久、岡本牧人、石井邦雄 他	医歯薬出版株式会社	2011年	3,000円＋税	
	チーム医療を成功させる10か条 —現場に学ぶチームメンバーの心得—	福原麻希	中山書店	2013年	3,000円＋税	
その他の資料	適宜提示					

評価方法

レポート（50%）、グループワークの発表（50%）

履修上の留意点

グループディスカッションを多く取り入れた講義であるため積極的に参加すること。
グループワークの評価はルーブリック評価により明確に示されているので参考にする事。

オフィスアワー・連絡先

研究室 K棟403

メール matsui@nuhw.ac.jp

オフィスアワー 木曜午前中

授業に関する質問などは、メールアドレスまでご連絡ください。